

スタッフ便り

新年、明けましておめでとうございます。昨年は、新たに竣工したサイバーサイエンスセンター2号館において新スーパーコンピュータシステム SX-ACE の運用が開始され、新システムを活用したリアルタイム津波浸水・被害予測シミュレーションシステムが開発されるなど、研究基盤だけでなく社会基盤としても当センターの資源が活用されております。本年も、日本の科学技術・産業・社会を支える重要な基盤として、皆様を支援できるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

先月上旬に仙台市営地下鉄 東西線が開通し、「青葉山」駅から徒歩3分と、サイバーサイエンスセンターへのアクセスが容易になりました。科学技術計算を支える新スーパーコンピュータや可視化システム、東北の大学ネットワークを支えるネットワーク機器、歴史的資料を展示しているコンピュータ博物館など、サイバーサイエンスセンターの見学が随時できますので、皆様のお越しをお待ちしております。(K.K)

新年あけましておめでとうございます。

7月の異動から、早いもので半年がたちました。地下鉄東西線も遂に開業し、多くの方が利用していると思います。私が大学に勤務した頃の頃、「運輸交通専門委員会」を担当する部署にいました。委員会では青葉山キャンパスへの、道路だけではない新アクセス方法を検討されておりました。モノレール構想もあったと記憶しております。10年後、再びその部署に異動した時には「地下鉄」という結論になっており、委員会は仙台市関係者とルートの協議を重ねていました。それが今、ようやく実現した、という想いです。

地下鉄開業で八木山も変わりました。動物公園駅周辺は道路が広くなり、バスプールもできました。八木山小学校付近と国道286号線を結ぶ新しい道路も開通しました。高校生だった頃、八木山に住む友人宅をバイクで訪れる時、「ここだけ、なんでこんなに道路が広いんだ。」と思っていましたが、このようになる計画だったんですね。八木山から、今は高架となったJR長町駅まで、広い道路1本でつながりました。当時から30数年たった今、車で通勤利用しています。

さて、センターからは、日々変っていく新キャンパスの建築工事ラッシュが一望できるため、貴重な体験をさせていただいております。環境科学研究科の建物が完成し、農学研究科の建物が少しずつ様相を表してきました。農学研究科が新キャンパスに移転完了すると益々の賑わいになるでしょう。平成18年7月、私は新キャンパス用地取得の事務に携わっており、当時の吉本総長と村井知事が青葉記念会館で県有地売買契約調印後、がっちり握手した光景は鮮明に覚えております。文科省への移転計画説明資料や、収支決算バランスシート作成、仙台市への環境アセスメント申請等々を思い出します。あれからもう10年になるんですね。

年頭にあたり、ちょっと過去を振り返ってみました。(T.K)



整備中の新青葉山キャンパス



地下鉄東西線 青葉山駅北1出入口

SENAC 編集部会

小林広明 曾根秀昭 水木敬明 後藤英昭
江川隆輔 佐藤恵美子 高杉佳奈 大泉健治
小野 敏 斉藤くみ子

平成28年1月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
郵便番号 980-8578
印刷 東北大学生協同組合
プリントコープ